

Effects of tumor necrosis factor inhibitors and tocilizumab on the glycosylated hemoglobin levels in patients with rheumatoid arthritis; an observational study

大塚, 友希実

<https://hdl.handle.net/2324/2236069>

出版情報 : Kyushu University, 2018, 博士 (医学) , 課程博士

バージョン :

権利関係 : Statement of depositing dissertation and fulltext file have not been submitted.

(別紙様式2)

氏名	大塚 友希実			
論文名	Effects of tumor necrosis factor inhibitors and tocilizumab on the glycosylated hemoglobin levels in patients with rheumatoid arthritis; an observational study			
論文調査委員	主査	九州大学	教授	中島 康晴
	副査	九州大学	教授	小川 佳宏
	副査	九州大学	教授	岡田 誠司

論文審査の結果の要旨

炎症性サイトカインに作用する生物学的製剤である TNF 阻害薬 (TNFi) と IL-6 受容体阻害薬 トシリズマブ (TCZ) は、関節リウマチ患者の糖代謝に影響を与える可能性が指摘されてきたが、両者を比較した報告はない。

申請者らは、TNFi および TCZ が投与開始された関節リウマチ患者の糖化ヘモグロビン (HbA1c) について、多施設共同、後ろ向きに解析した。投与前と投与 3 ヶ月後の HbA1c が判明した症例を対象とし、TNFi 群 154 例、TCZ 群 67 例の計 221 例であった。両群とも投与 1 カ月後および 3 ヶ月後の HbA1c は有意に低下していた。投与前の HbA1c に差は見られなかったが (TNFi, 6.2%; TCZ, 6.2%; $p=0.532$)、投与 3 ヶ月後の HbA1c は TCZ 群でより低値であった (TNFi, 6.1%; TCZ 5.8%; $p=0.010$)。HbA1c の 3 ヶ月間の低下が 0.5% 以上見られたことを「HbA1c の低下」と定義すると、HbA1c の低下と関連があった因子は投与前の糖尿病診断および糖尿病治療、観察期間中の入院、糖尿病治療の強化、経口ステロイドの減量、そして TCZ での治療であった。多変量ロジスティック回帰分析では TCZ は TNFi と比べ HbA1c の低下と有意に関連していた (adjusted odd ratio= 5.59, 95% CI= 2.56-12.2)。TCZ は TNFi と比べ関節リウマチ患者の HbA1c をより低下させる可能性が示唆された。

以上の結果は、この方面の研究に治験を加えた意義あるものと考えられる。本論文の内容について、各調査委員より専門的な観点から論文内容および関連した事項について種々の質問を行ったが、いずれについても適切な回答を得た。なお、本論文は共著者 13 名であるが、予備調査の結果、本人が主導的役割を果たしていることを確認した。よって調査委員会合議の結果、試験は合格と決定した。